

南砺市都市計画マスタープラン

概 要 版



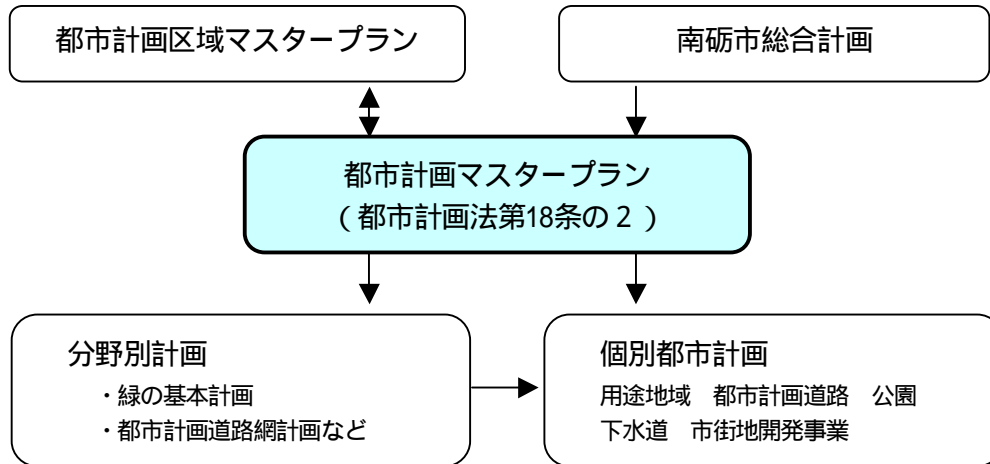
平成21年3月

南 砺 市

都市計画マスタープランとは

「南砺市都市計画マスタープラン」は、市の基本構想である「南砺市総合計画」が定めるさまざまな施策内容のうち、特に都市づくりに焦点をあてたものです。この基本構想に示された理念を基本的に継承しつつ、より詳細な考え方を示すものです。

南砺市都市計画マスタープランの位置づけ

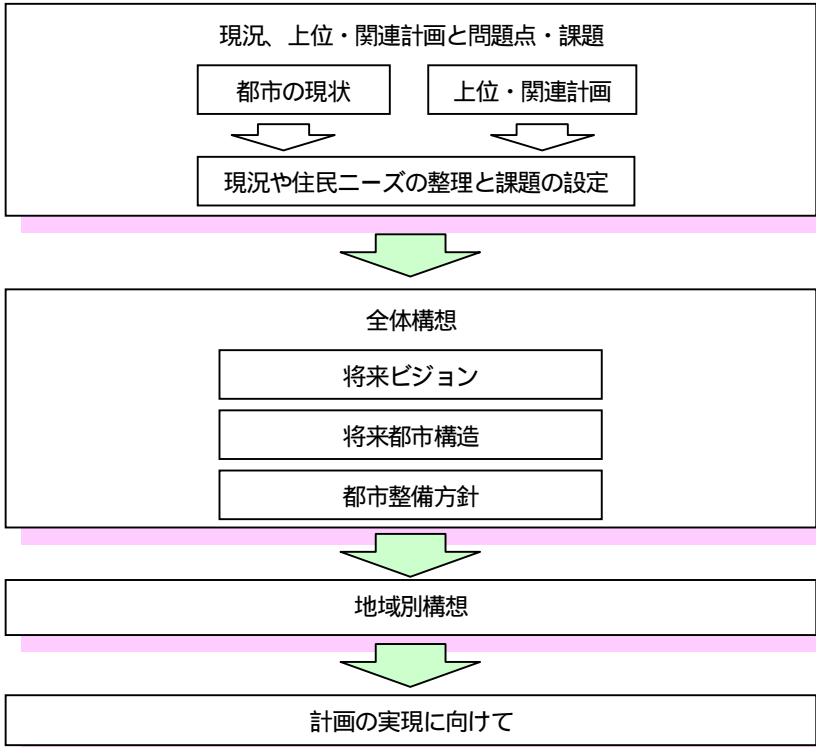


計画期間

計画期間は平成21年～平成40年の20年間とし、目標年次を平成40年と定めます。



計画フロー



現在の状況

現況の整理

平地から山岳部まで地形の起伏に富む
 庄川・小矢部川水系に位置し、自然や四季の変化に恵まれる
 独自の歴史・文化・観光資源を持つ8町村の合併で新市誕生
 平地部の散居村や歴史的な市街地、合掌造り集落など特有の景観を誇る
 農業・製造業は幅広く展開するが、都市的集積については相対的に低い
 散居や過疎等の低密度居住、マイカー中心の交通
 富山・高岡・金沢など北陸の主要な都市に近接する
 北陸圏と中京都市圏とを結ぶ軸上に位置する

時代の潮流と今後の変化要因

少子高齢化、高齢者(単身)世帯の増加、団塊世代の大量退職
 人口減少のなかで、地域力(地域の総合力)の結集や地域間の交流・連携の高まり
 産業構造の転換、経済のグローバル化、国際分業化、就業形態の多様化、
 コミュニティビジネスへの期待増
 IT化の進行、ユビキタス社会の到来
 環境・資源・エネルギー対策の重要化
 東アジア諸国を中心とした外国人観光客の増加
 国際観光の急伸、人材育成・環境等での国際社会への貢献など
 自然災害の多発、食の安全問題、スローフード、健康増進などによる
 安全・安心な暮らしへの関心の高まり
 東海北陸自動車道の全線開通による中京都市圏への時間短縮
 北陸新幹線の金沢までの開業(平成26年度)による鉄道網(航空網)の改変
 中部縦貫自動車道整備による首都圏への時間短縮
 地方分権が進展し道州制の導入が議論、地方が自立的に発展する国土への転換

課題の設定

本市の課題を以下のように設定します。

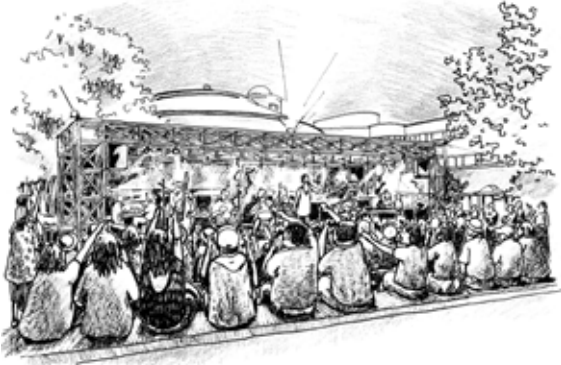
- 1 産業振興など総合的な取り組みによる若者の定着化
- 2 少子高齢化にも対応した暮らしの充実
- 3 地域を越えた市民パワーの結集と行政の協働
- 4 広域交通や多彩な資源を活かした交流の活発化
- 5 地域資源の継承による市民の誇りの増進と南砺市のファンの拡大
- 6 環境の保全・豊かな自然との共生

暮らしのイメージ

市民と行政が共通の夢や目標を描くことによって、積極的にまちづくりを進めます。

- 1 若者が生き生き働きながら、楽しく暮らしている
(若者の定着化)

若者が企画したイベントを
老若男女、広範な市民が支える



- 2 子供から高齢者まで仲良く心穏やかに便利に暮らしている
(暮らしの充実)

年輩者が子どもに昔の遊びを教えるなど
世代を超えた絆が根づいている



- 3 市民の自発的パワーを結集している
(市民と行政の協働)

市民が手を携え、自主的なまちづくり
活動が取り組まれている



- 4 観光客や市外からの来訪者を温かくもてなし、積極的に
交流している
(交流の活発化)

市民がすすんで来訪者を歓待し、交流を深めている



- 5 市民の誇りと愛着が高まり、南砺市のファンが多数いる
(市民の誇りの増進とファンの拡大)

先人の技や知恵をつなぎ、地域への思いを
共有している



- 6 自然に包まれて、ゆったり暮らしている
(自然との共生)

自然との繋がりを大切にしながら、心豊かに生きている



将来ビジョン

「まちづくりの基本理念」としてまちづくりのテーマを掲げ、それに基づき本市の特性を踏まえた総合的・一体的な都市づくりを具体的に推進するための「まちづくり戦略」(基本的視点)、そして戦術としての「基本方針」を次のように体系づけて展開します。

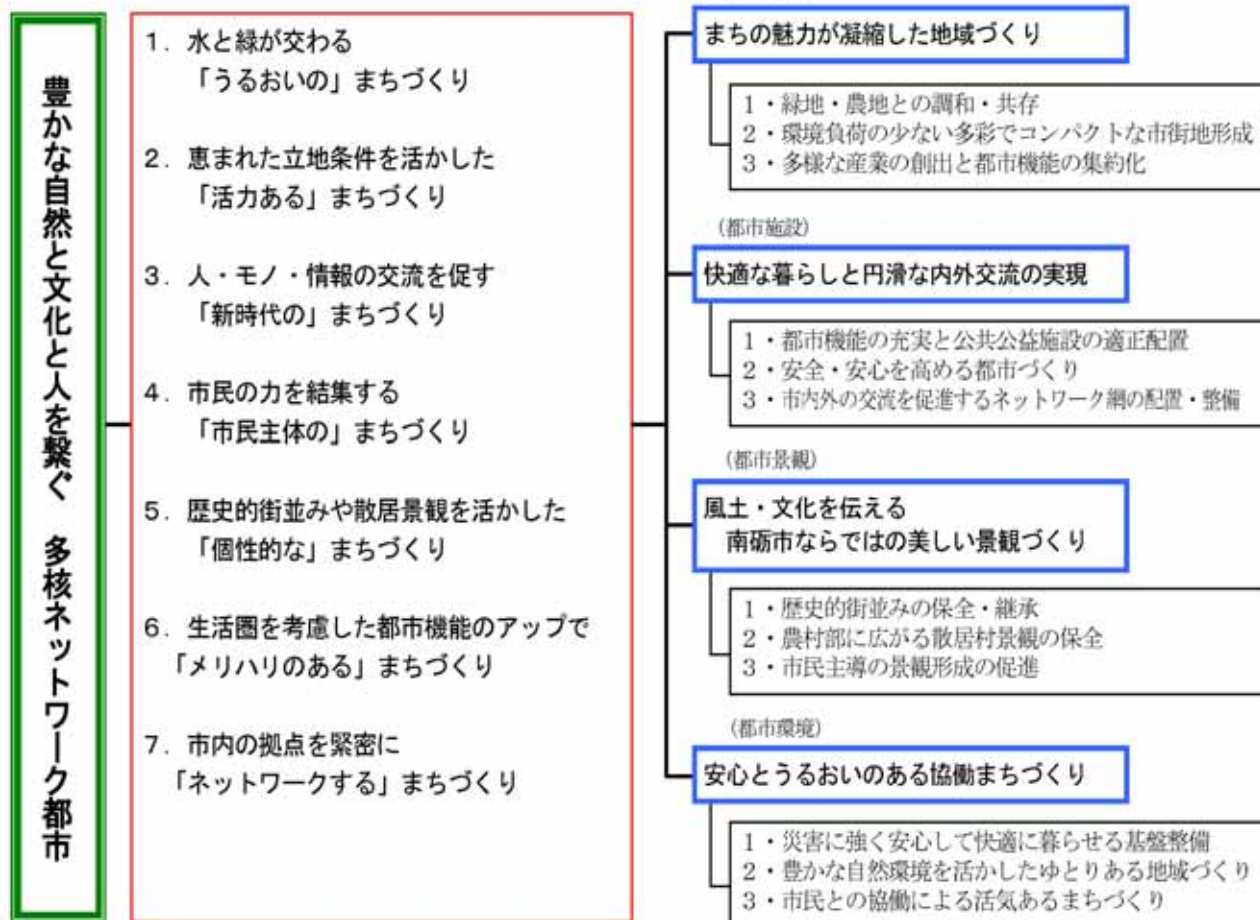
～ まちづくりのテーマ ～

豊かな自然と文化と人を繋ぐ 多核ネットワーク都市

まちづくりの
テーマ

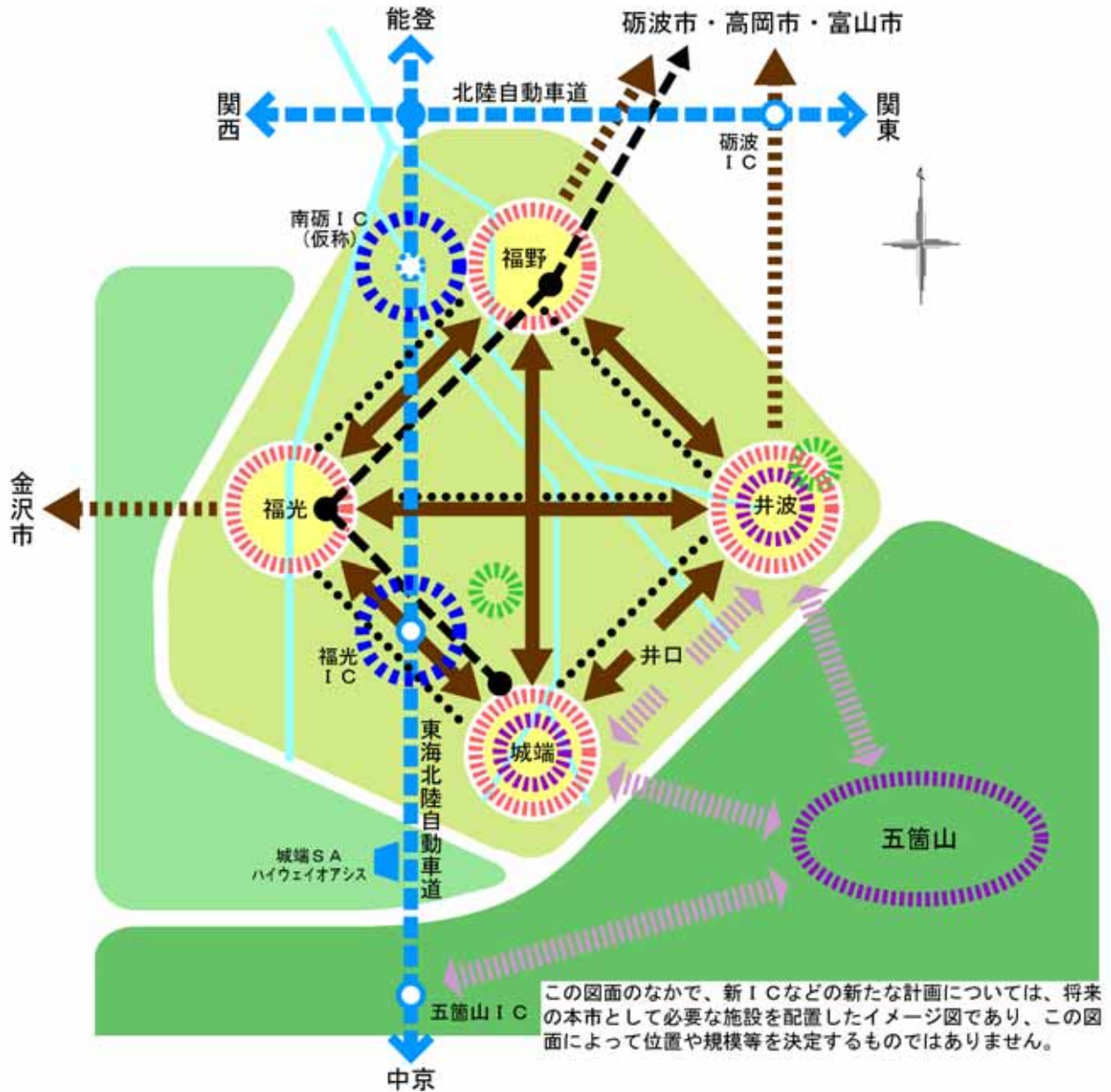
まちづくりの戦略








基本方針



将来都市構造

既存の4つの市街地を拠点とし、ここに都市機能を集約させ、これらの市街地を密接に連絡することにより、本市として一体感のある都市構造の構築を図ります。



	都市生活拠点		広域交通軸
	産業拠点		都市連携軸(道路)市内
	歴史文化拠点		都市連携軸(道路)近隣都市
	医療拠点		都市連携軸(鉄道)
	スポーツクリエーションゾーン		都市連携軸(基幹バス)
	散居保全ゾーン		水辺環境軸
	自然観光レクリエーションゾーン		観光ネットワーク

都市整備方針

都市計画区域

4つの都市計画区域を1つに統合するとともに、井口地域の平野部を都市計画区域に編入します。

土地利用方針

環境問題や高齢化等の課題に対応しながら、本市の特性を發揮していくため、拡散を抑えたコンパクトな市街地形成を目指し、計画的な土地利用を進めるため整備誘導を図ります。

交通体系の整備方針

本市の新たな枠組みを受けて、道路網および鉄道・バス等の公共交通網の強化を図ることにより、総合的な交通体系を構築します。

公園・緑地の整備方針

「みどり」の体系的配置を進める中で、災害時の避難や復旧復興の拠点となる機能の充実、快適性やユニバーサルデザインに配慮した施設の再整備などを図ります。一方、公園や緑地の不足している地域にあっては、地域の特性に応じた整備に努めます。

その他の都市施設の整備方針

下水道、上水道、河川、情報基盤などの都市施設についても、安全で快適な都市の形成を支える基盤施設として適切に整備します。

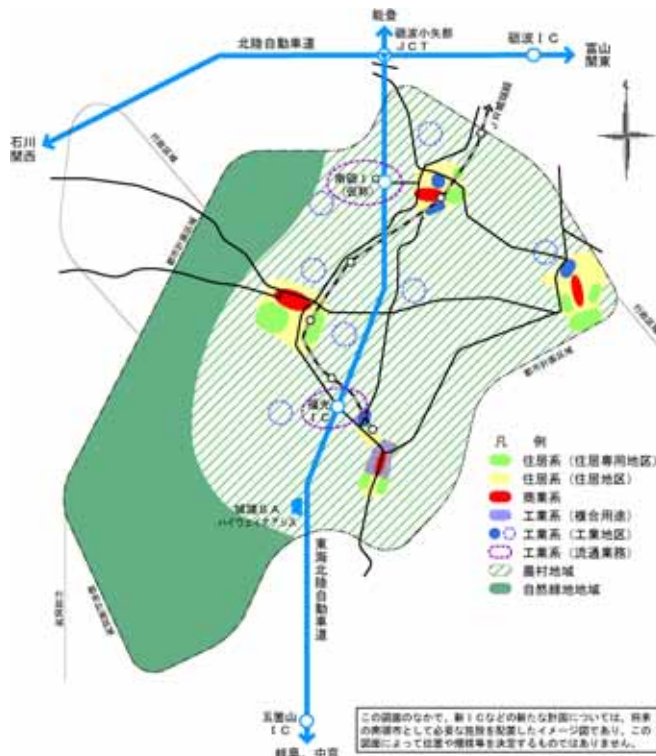
都市景観の整備方針

本市の「風土」「文化」を反映した個性的で質の高い景観を保全し継承するとともに、これからは市民が誇れる美しいまちを創り出していくことも大切となることから、市民意識の向上を図りつつ景観整備を行政と市民の協働で積極的に進めます。

都市環境の整備方針

市民が安心して暮らせるよう災害に強く安全性の高いまちづくりを進めます。また、豊かな自然を享受して快適に暮らせるよう都市・生活環境の整備を進めます。

土地利用方針図



都市景観整備方針図



地域別構想

城端地域

地域の特性

- ・市街地は河岸段丘によって形成された地形上に位置しています。
- ・「城端曳山祭」、「城端むぎや祭」など伝統文化が継承され、市街地には門前町の趣が残されています。
- ・地域の南西に桜ヶ池公園があり、隣接してハイウェイオアシスがあります。
- ・市街地には起業家支援施設があり新しい起業家が育っています。(アニメーション制作など)

まちづくりの目標

伝統文化と新たな産業が織りなすまち 城端

- ～ 織物業などの伝統産業と新しい産業、昔の面影が残る路地や旧街道と整備された国道304号など、古き良きものと新しいものが融合した地域の特色を活かして ～

まちづくりの主要方針

歴史的な資源を活かしたまちづくり

- ・歴史的街並み、城端絹など地域資源を活用し、交流人口の増加と地域産業の活性化を図ります。
- ・城端伝統芸能会館「じょうはな座」を拠点とし文化交流を促進します。

地域風土を活かした都市空間の整備

- ・地域の玄関口としてJR城端駅周辺を景観に配慮しながら都市機能の充実を図ります。
- ・端唄・庵唄、三味線の音などが聞こえる地域風土を活かした居住空間の整備に努めます。
- ・街なかでの職住近接型の居住スタイル維持していきます。

国道304号を軸とした交通ネットワークの整備

- ・国道304号を城端地域の背骨とし、各地と結ぶ機能的な交通網の完成をめざします。
- ・風土の趣を残しながら安全に行き来できる歩行者空間ネットワークの形成に努めます。

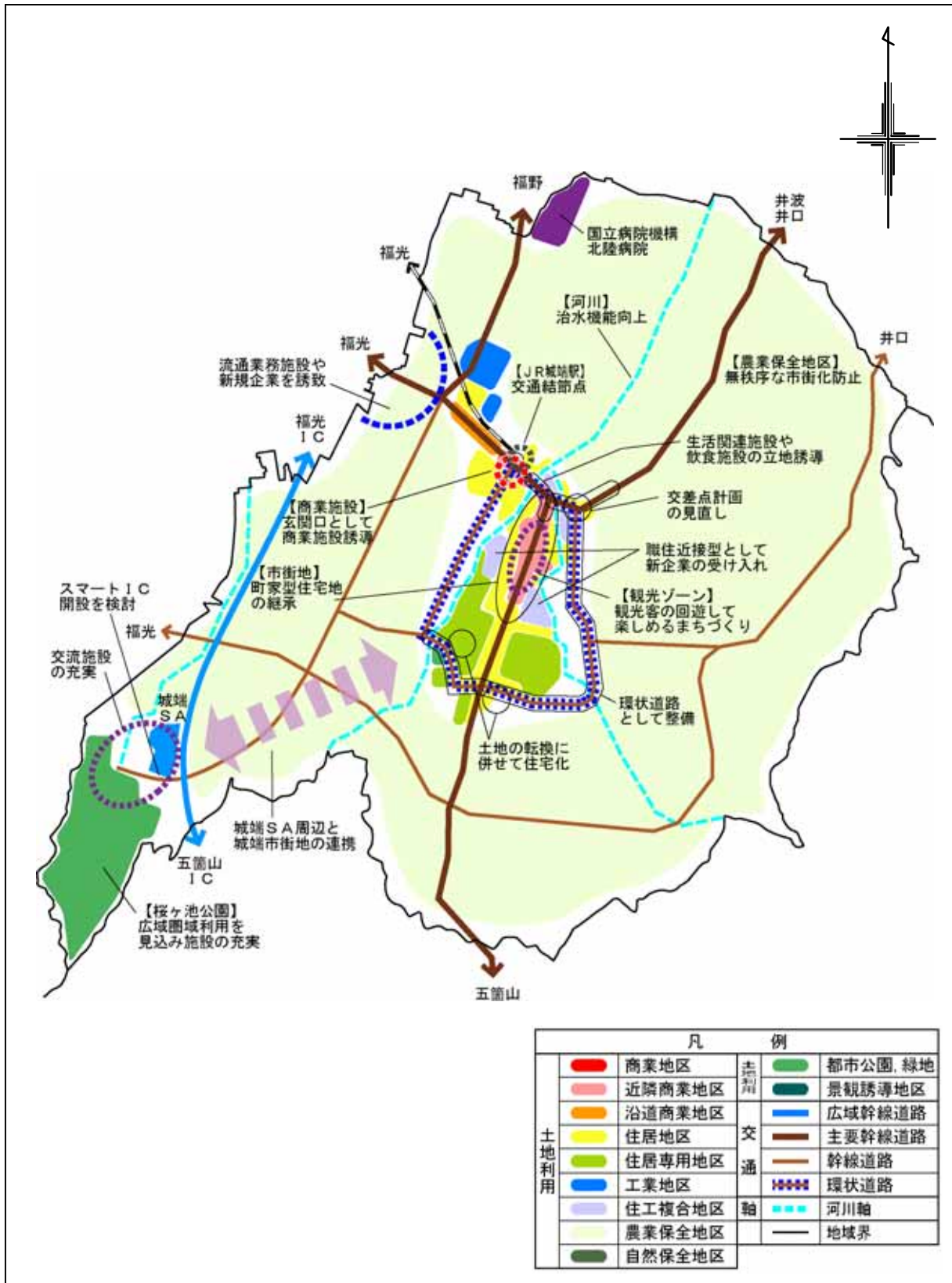
伝統産業と新たな産業の融合

- ・伝統産業としての織物と新たな分野との融合による地域産業の活性化を図ります。



回遊しながら楽しめる善徳寺周辺の観光ゾーン
(整備イメージ)

まちづくり方針図（城端地域）



井波地域

地域の特徴

- ・瑞泉寺をはじめ多くの寺院があり、門前町として発展してきました。
- ・彫刻工芸を主とする木彫りの里として、多くの観光客が訪れています。
- ・南砺市民病院があり、医療の拠点として位置づけられています。

まちづくりの目標

街なみに工芸と暮らしが息づくまち 井波

- ～ 瑞泉寺を中心とした歴史的な街並みが残る門前町に、彫刻工芸が伝統文化として継承され活気づき、また地域の良さを感じて定住が促進されるまちをめざして ～

まちづくりの主要方針

瑞泉寺門前町の誘客促進

- ・八日町通りを中心とする地区から木彫りの里に至るまでの地区を、回遊性の高い観光地として、誘客機能の充実や歩行ネットワークの整備充実を図ります。

伝統が息づく居住のまちづくり

- ・伝統が息づく街並みのなかにその良さを活かして、都市生活者の転入先として積極的な受け入れ策を検討します。

ニーズに対応した魅力ある市街地の創出

- ・市街地中心部は、住民のサービスや施設の整備充実に努め、生活のニーズに対応した市街地の形成を図ります。

機能的な交通体系の整備

- ・本市の歴史文化拠点として、交通拠点からのアクセス性の向上を図ります。
- ・市街地内で道路網整備及び交通動線について検討します。

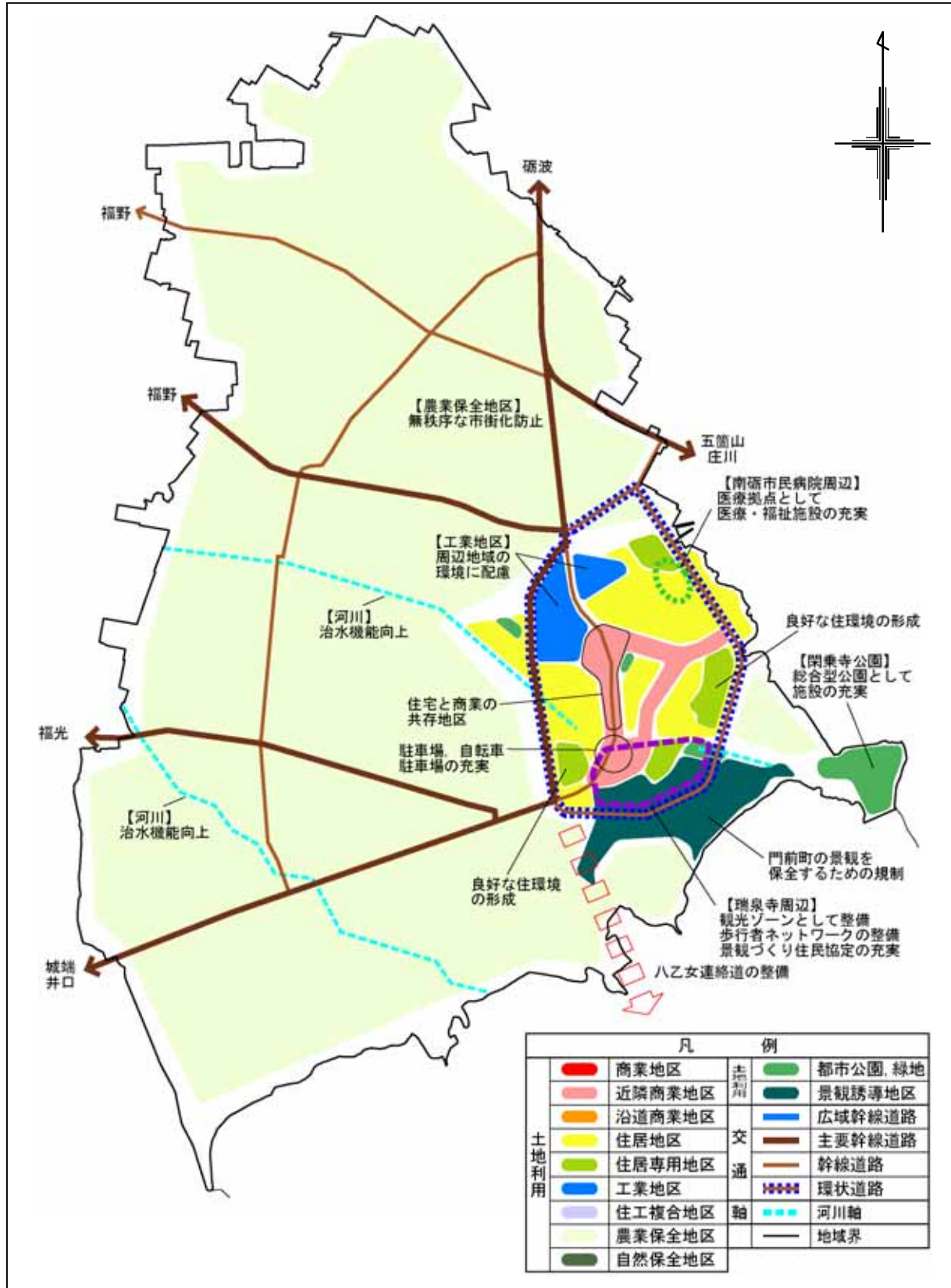
医療・福祉サービスの充実

- ・南砺市民病院を医療拠点とし、医療と福祉の連携を進めながら施設やサービスの充実に努めます。



市民の暮らしと観光施設が共存する八日町通り
(整備イメージ)

まちづくり方針図（井波地域）



福野地域

地域の特徴

- ・古くから交通の要衝として市が立ち、現在も商業地として集客しています。
- ・大規模な工場の立地が見られます。
- ・鉄道により地域が分断されています。
- ・音楽や特産物を活かしたイベントが多く開催されています。

まちづくりの目標

商工と農芸に人が集い賑わうまち 福野

- ～ 商業と工業の充実により買物や通勤で人びとが集まり、また地域風土を活かした「里いも」などの農業や「菊」などの園芸を通して人びとが集うまちとして ～

まちづくりの主要方針

商業・工業の活力あるまち

- ・ショッピングセンターを中心に、商業機能の充実により地域商業全体の活性化を図ります。
- ・新規インターチェンジの設置により交通の利便性を高め、企業誘致を積極的に進めます。

ゆとりある居住環境の提供

- ・駅周辺の市街地に良好な居住環境の整備を進め、あわせて公共交通の利用増を図ります。
- ・市街地内で居住環境の整備、未利用地についてはゆとりある住宅地の提供を図ります。

連携強化を図る道路整備

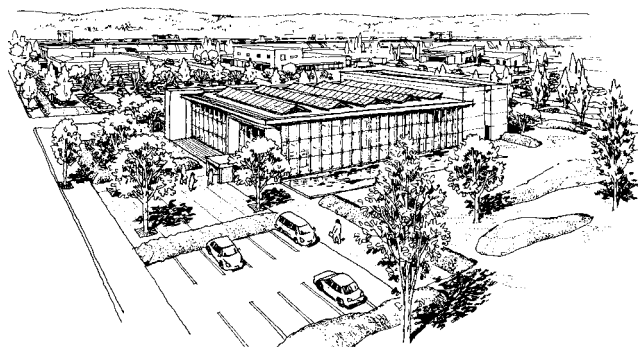
- ・周辺地域との連携強化を図るとともに、市街地での環状道路や鉄道駅へのアクセス道路など道路網の整備に努めます。

安心して暮らせる都市空間の形成

- ・安心して移動できる歩行空間の確保及び公共交通の充実に努めます。
- ・街路樹の整備など快適な都市空間を演出する景観形成に努めます。

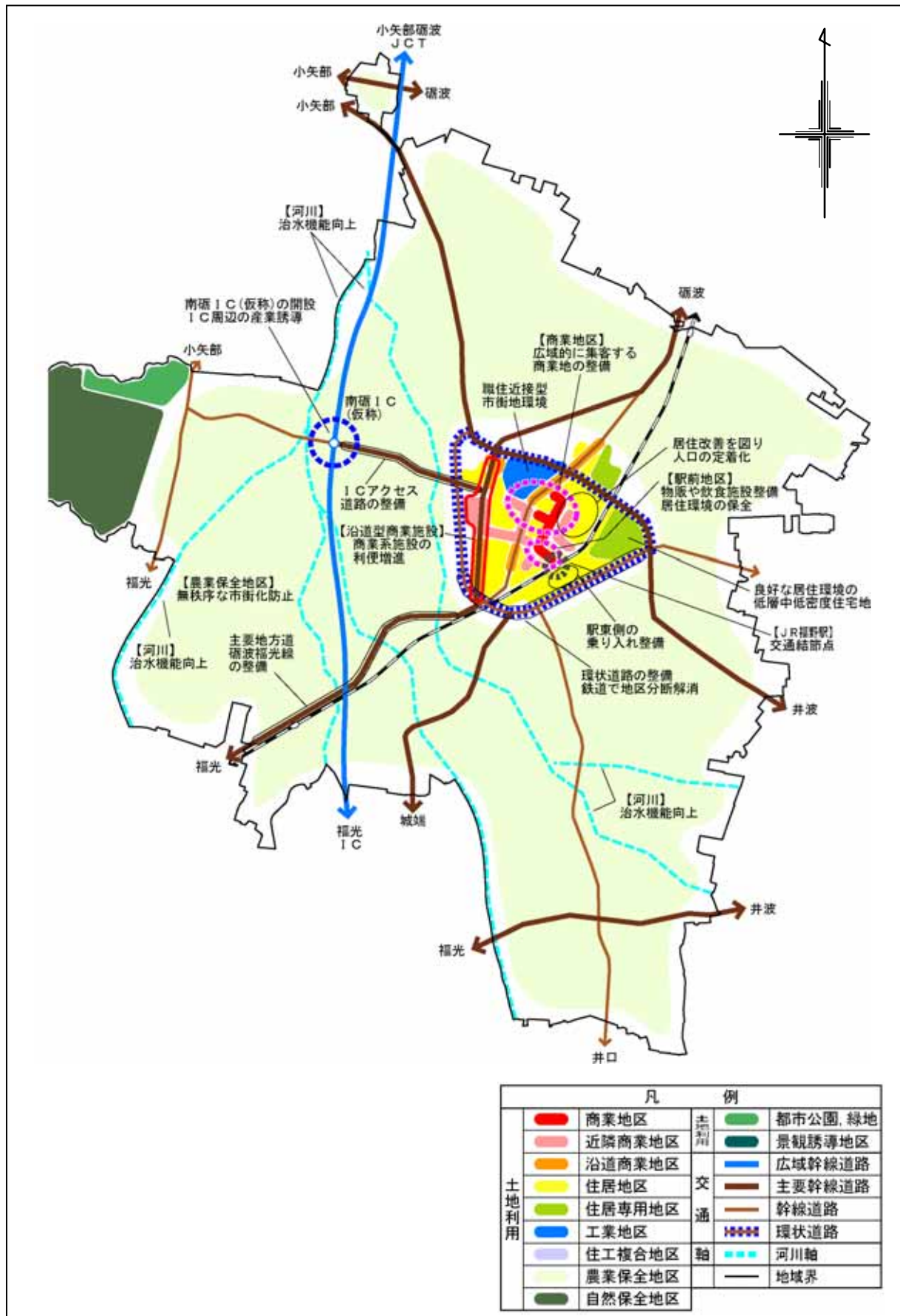
祭りやイベントにより交流促進

- ・「福野夜高祭」や「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」などの祭りやイベントを市街地中心部の活性化に活用して賑わいの創出を図ります。



南砺インターチェンジ（仮称）からのアクセスが良い企業集積地
（整備イメージ）

まちづくり方針図（福野地域）



福光地域

地域の特徴

- ・金沢市に近い距離にあります。
- ・市街地には版画家の棟方志功ゆかりの観光施設が立地しています。
- ・用途地域内にはまだ農地がまとまって残っています。
- ・山間地にはスキー場やキャンプ場などのレクリエーション施設が充実しています。
- ・温泉施設が多くあります。

まちづくりの目標

自然と文化を育む交流のまち 福光

～ 棟方志功の版画、中国交流の美術品等の「文化」と、干し柿や米菓等の自然の食材、山間地のレクリエーション施設といった「自然」を育み、交流するまちとして ～

まちづくりの主要方針

交流による活性化

- ・個々の観光施設の連携を高めて回遊性を持たせ、交流人口の増加を図ります。
- ・隣接する金沢市と行政や経済面の他、教育、文化、観光にも交流を深め活性化を図ります。
- ・豊かな山間地で、スポーツレクリエーション施設の整備充実を図ります。

商業地の活性化

- ・観光施設や沿道型商業施設との連携、商業機能の充実で、中心部の活性化を図ります。

快適な居住環境の整備

- ・金沢市へのアクセスや地域の魅力を高め、ゆとりある環境を活かし定住促進を図ります。
- ・居住地の計画的な整備に努める一方、需要見通しの中で用途地域の見直しも検討します。

地域内外との連携を図る道路整備

- ・隣接する金沢市や市内各地域との連携強化を図るべく道路整備を推進します。
- ・鉄道や河川によって分断されている地区の一体化をめざし道路整備を推進します。

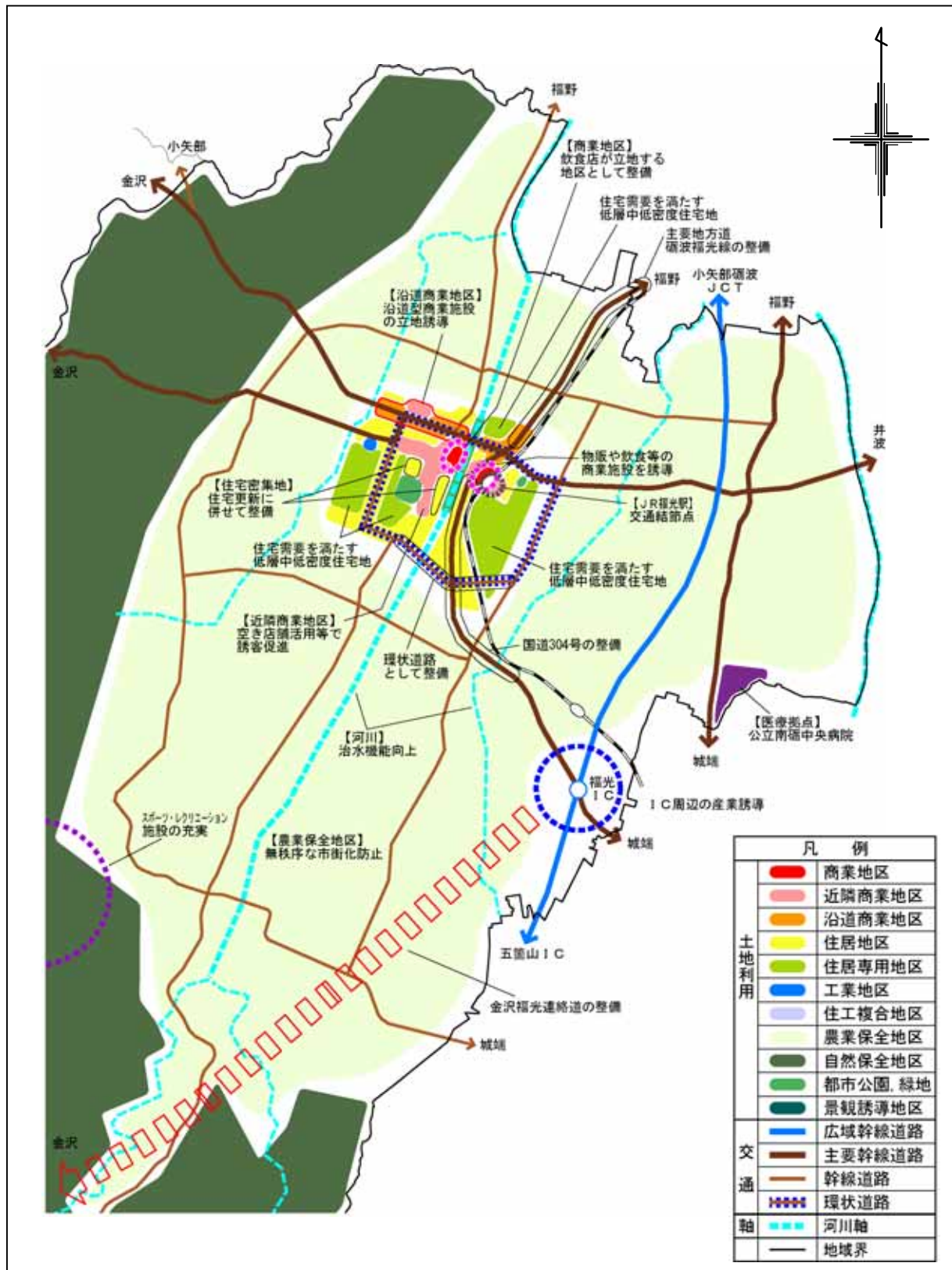
安心して暮らせる都市空間の整備

- ・日常生活に安心して利用できる歩行者空間の整備充実をめめます。
- ・建物が密集する市街地で基盤整備を進め、安心して暮らせる生活環境の確保に努めます。



既成市街地周辺で整備された低層住居専用地区（整備イメージ）

まちづくり方針図（福光地域）



井口地域

地域の特徴

- ・平野部一帯は良好な農地と散居村が広がっています。
- ・周辺地域での都市施設の利用が多くなっています。
- ・井口カイニョと椿の森公園（椿館等）など“椿”に関する施設があります。

まちづくりの目標

田園と定住環境が調和した地域 井口

～ 平野部に広がる田園風景を保全しながら、住み慣れた地域としての居住環境を形成し、豊かなコミュニティが継承される地域として ～

まちづくりの主要方針

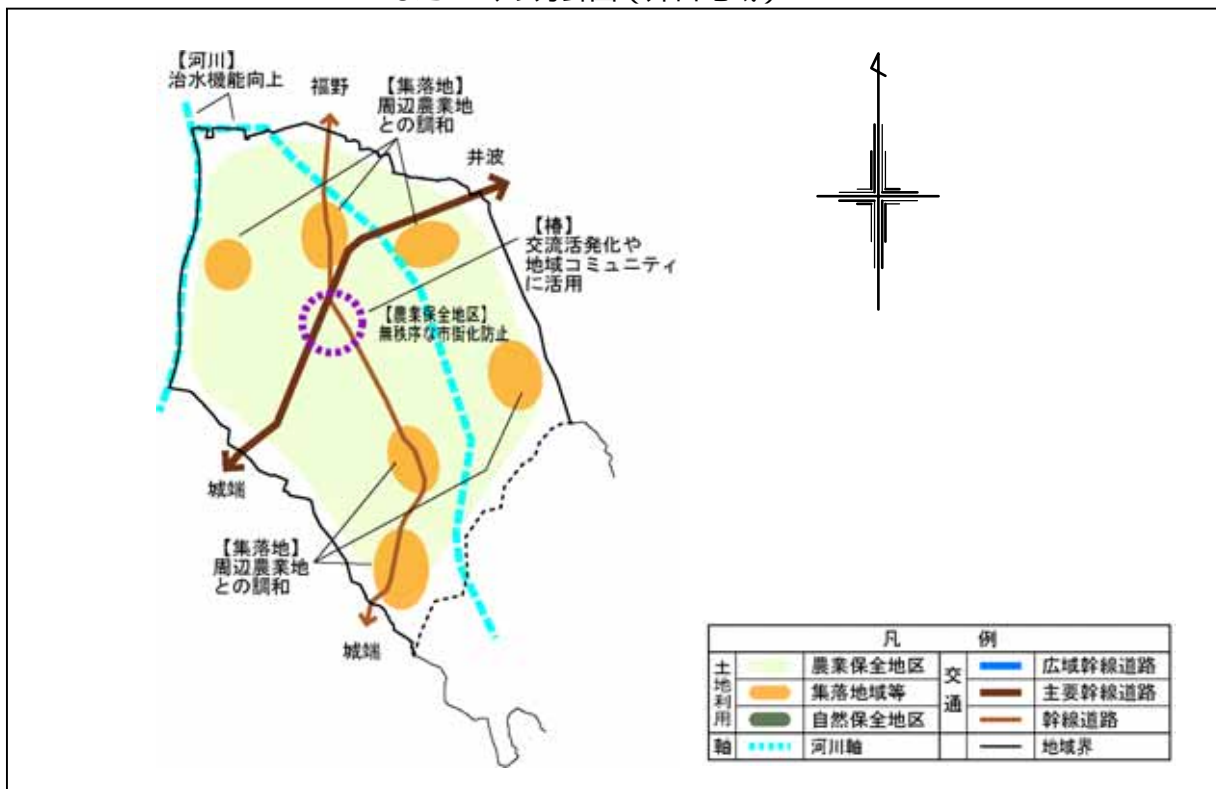
地域の特産を活かしたまちづくり

- ・「つばきの里」としてその資源を活用し、交流人口の増大と地域の活性化を図ります。

農業環境と調和した定住環境の整備

- ・農村景観を保全しながら、都市基盤整備の充実により、快適な定住環境の形成を図ります。
- ・井口カイニョと椿の森公園を拠点とし、文化の発展やコミュニティの強化を進めます。

まちづくり方針図（井口地域）



山間地域

地域の特性

(五箇山)

- ・世界遺産合掌造り集落や五箇山民謡など、地域独自の文化が継承されています。
- ・各集落は平野部市街地と国道や県道などにより連絡しています。

(福光西部)

- ・地域内には金沢市と本市を連絡する主要な道路が通っています。

地域の将来像

(五箇山)

五箇山地域は、世界遺産をはじめ伝統的な歴史文化を今に伝え、現在の暮らしに活かすことにより、本市の歴史文化拠点として城端、井波地域とともに観光ネットワークを形成し、豊かな自然環境の保全を図るなかで将来の地域づくりをめざします。

(福光西部)

福光西部は、福光地域と金沢市の間にあって、自然環境に恵まれた山村の暮らしが維持されてきました。将来においてもこの地域の環境を維持していきます。

地域づくりの主要方針

(五箇山)

地域資源を活かした魅力の発信と安定した産業の創出

- ・風土文化の魅力を地域内外に発信し、体験型・滞在型の観光客誘致を推進します。
- ・観光など安定した活力となる産業の創出を図ります。

時代の潮流を考慮した地域づくり

- ・過疎化や少子高齢化が進む中で、生活環境や地域産業を維持できる体制づくりに努めます。

暮らしやすい生活基盤の整備

- ・各地域を連絡する災害に強い道路ネットワークづくりを進めます。
- ・冬期間でも安全で快適な暮らしができる生活環境づくりに努めます。

自然あふれる環境や地域固有景観の保全

- ・緑あふれる山間地や清らかな河川といったうるおいある環境の保全に努めます。
- ・世界に誇れる地域固有の景観について、その保全を図るため規制や誘導を検討します。

(福光西部)

地域内外との連携

- ・金沢市へ連絡する交通の安全確保に努めます。

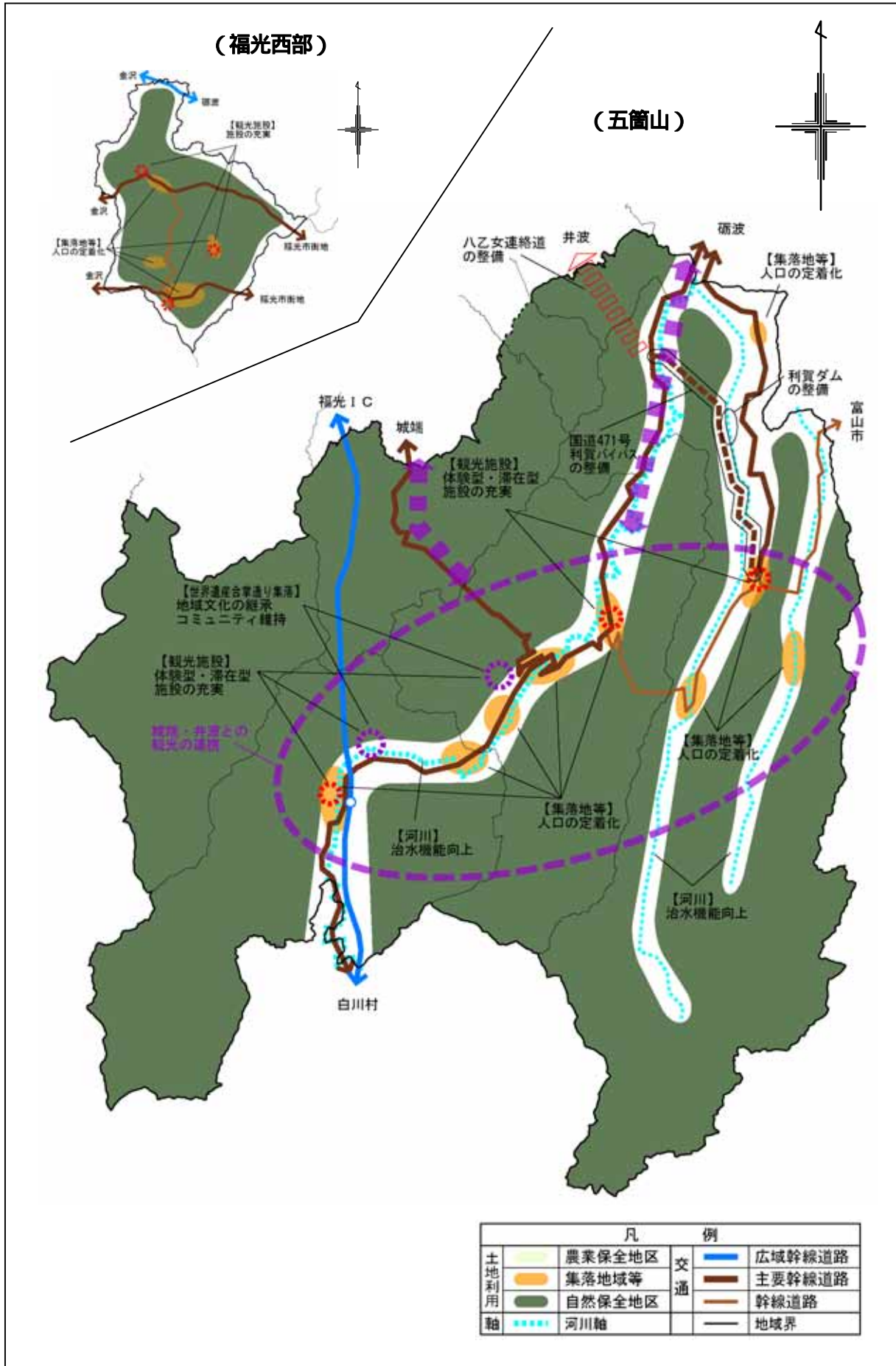
地域コミュニティの維持

- ・山村の良好な暮らしの保全と、地域コミュニティの維持に努めます。

緑豊かな自然環境の保全

- ・地域の緑豊かな自然環境の維持保全に努めます。

まちづくり方針図（山間地域）



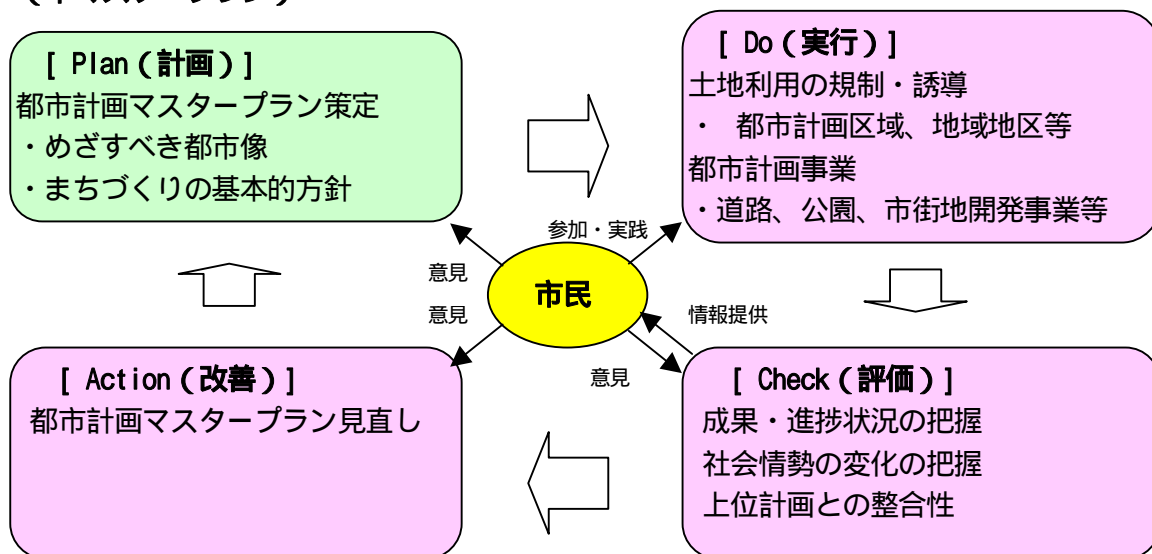
計画の実現に向けて

ここで策定した都市計画マスタープランに沿ってまちづくりを実現していくために、計画的な運用が不可欠です。また事業の推進にあたっては、市民と企業と行政が協働してまちづくりを推進する仕組みづくりが必要になります。

計画の進行管理

この都市計画マスタープランは20年後の長期展望に立っていますが、目標実現までの進行管理の仕組みとして、必要に応じて都市計画マスタープランを見直していきます。

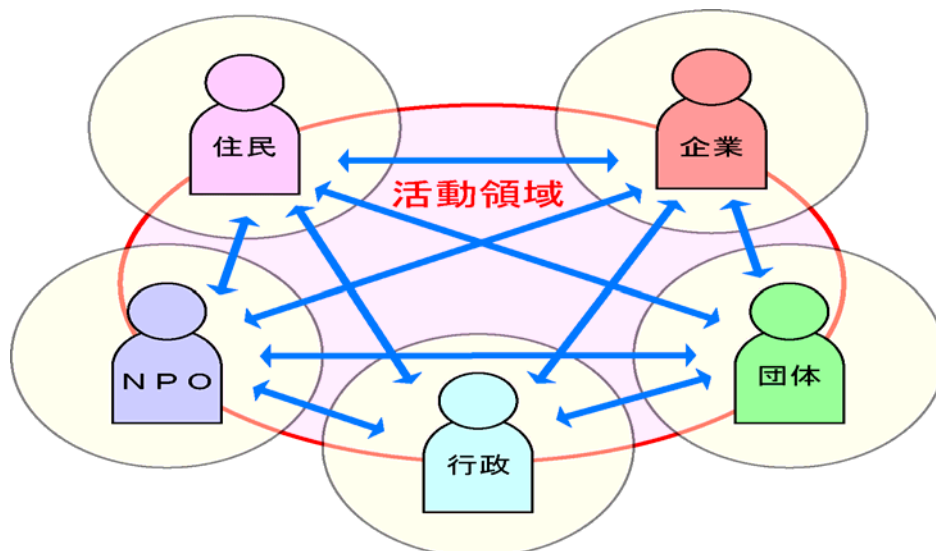
(本マスタープラン)



まちづくりの推進体制

これからのまちづくりでは、市民や企業、NPO、まちづくり専門家そして行政等がそれぞれの役割を果たしつつ協働して取り組む体制整備が求められています。

まちづくりの推進体制





南砺市
NANTO CITY